

※農業委員会へ書類を提出する日を記入

農地法第3条の3第1項の規定による届出書

令和 年 月 日

邑楽町農業委員会長 様

※新たに所有権を取得した人の住所・氏名を記入

住所
氏名 印

下記農地（採草放牧地）について、（ 相続 ）により（ 所有権 ）を取得したので、農地法第3条の3第1項の規定により届け出します。

記

1 権利を取得した者の氏名等

	氏 名	住 所
届出者		

※上記の人の住所・氏名をもう一度記入。なお、

- ①共有名義での相続の場合は、氏名の後に（ 1 / 2 ）等持ち分も記入し、2人目以降の方は、裏面別紙1欄に続けて記入してください
- ②複数の農地を分割して複数の人が相続する場合（農地A・Bは長男、C・Dは次男が相続といった場合）は、裏面別紙1は使用せず、届出書をもう一枚使用して、別に記入してください。この場合、農業委員会へ連絡を頂ければ追加の用紙を用意できます。またご自身でコピー等して使用して頂いても結構です。

2 届出に係る土地の所在等

所在・地番	地 目		面 積 (m ²)	備 考
	登記簿	現 況		

※相続をした農地を1筆ごとに記入（2筆目以降は裏面別紙2へ続けて記入）
 なお、上記に「別添の通り」と記入して、登記書類のコピー（上記の内容が分かるもの）を添付していただいても結構です。

3 権利を取得した日

令和 年 月 日

※登記簿に記載された登記の年月日を記入

4 権利を取得した事由

（例）亡父（〇〇）の遺産分割相続 等

※頭に（ 亡 ）を付けて頂き、申請者との関係と（ ）内に被相続人のお名前を入れてください。

5 取得した権利の種類及び内容

所有権 中野〇〇〇〇－〇（休耕田）

※権利の種類は「所有権」と記入してください。

内容については耕作をされていない場合は番地と「休耕田」と記入してください。

6 農業委員会によるあっせん等の希望の有無

（例）後継者がいないので借り手を探してほしい

※農業委員会による農地の借り手の斡旋を希望される場合は上記の例のように記入してください。

（記載要領）

- 1 本文には権利を取得した事由及び権利の種類を記載してください。
- 2 届出者の氏名（法人の場合にあつてはその代表者の氏名）の記載を自署する場合には、押印を省略することができます。
- 3 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載してください。
- 4 記の2の「届出に係る土地の所在等」の備考欄には、登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載してください。
- 5 記の4の「権利を取得した事由」には、相続（遺産分割及び包括遺贈を含む）、法人の合併・分割、時効等の権利を取得した事由の別を記載してください。
- 6 記の5の「取得した権利の種類及び内容」には、取得した権利が所有権の場合は、現在の耕作の状況、使用収益権の設定（見込み）の有無等を記載し、取得した権利が所有権以外の場合は、現在の耕作の状況、賃借料、契約期間等を記載してください。
- 7 記の6の「農業委員会によるあっせん等の希望の有無」には、権利を取得した農地又は採草放牧地について、第三者への所有権の移転又は賃借権の設定等の農業委員会によるあっせん等を希望するかどうかを記載してください。

別紙 1

	氏 名	住 所
届出者		
届出者		
届出者		
届出者		
届出者		

※共有で農地を相続する場合に2人目以降の方の氏名（持分）・住所を上記入してください。

※共有ではなく、複数の農地を複数で相続される場合（記入例参照）はこちらを使用せず、別の届出書を使用してください。

別紙 2

所在・地番	地 目		面積（㎡）	備 考
	登記簿	現況		

※農地を2筆以上相続した場合に一筆ごとに上記に記入してください。

※上記への記入を、表面に「別添の通り」と記入の上、登記書類のコピーを添付することで代用することもできます。

